

2011年度中部支部 通常総会

1. 日 時 : 2011年 6月10日(金) 9:50~19:20
2. 場 所 : 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号) TEL(052)683-7711
地下鉄「日比野」または「西高蔵」下車徒歩約5分
駐車場は、約 600 台駐車可能(1日1回 700 円)

3. 開催行事 :

行 事		時 間	会 場
研究発表会	受 付	9:10~	2号館 2階 会議室前ロビー
	第1会場	9:50~11:40	2号館 3階 234会議室
	第2会場		2号館 3階 232~233会議室
	第3会場		2号館 2階 224会議室
支 部 理 事 会		10:40~11:40	2号館 2階 222~223会議室
昼 食		11:40~12:50	2号館 2階 221会議室
通 常 総 会		13:00~14:00	1号館 4階 レセプションホール
先 輩 講 話		14:10~14:50	1号館 4階 レセプションホール 【 一 般 公 開 】
特 別 講 演 会		15:00~16:10	
ア ト ラ ク シ ョ ン		16:30~17:30	
会 員 パ ー テ ィ ー		17:50~19:20	1号館 7階展望レストラン

4. 参 加 費 : 通常総会(会員のみ) 無料
特別講演会・先輩講話・アトラクション(一般公開) 無料
研究発表会 正会員 無料、学生会員無料、
会員外(一般) 3,000 円、会員外(学生) 1,000 円
会員パーティー 7,000 円

5. 通常総会 : (13:00~14:00)1号館4階 レセプションホール

- * 開 会 の 辞
- * 支 部 長 挨 拶
- * 来 賓 挨 拶
 - * 議 長 選 出
- * 議 事
 - ① 2010 年度中部支部事業報告の件
 - ② 2010 年度中部支部会計決算報告の件
 - ③ 2010 年度中部支部事業および会計監査報告の件
 - ④ 2011 年度中部支部運営方針および事業計画の件
 - ⑤ 2011 年度中部支部収支予算の件
- * 支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈
- * 本部フェローの贈呈
- * 閉会の辞

6. 研究発表会

ご来場の際は、必ず2号館2階ロビー受付にお越し下さい。

(#:安全・環境 *:パワートレイン ※:シャシー・ボデー・エレクトロニクス他 項目)

セッション	会場	時間	テーマ	発表者
第1会場 (安全・環境など)	2号館 3階 2024会議室	9:50 ~10:10	カーナビゲーションシステムの情報を利用した横滑り防止装置	# ㈱アドヴィックス 研究開発部 安井 由行
		10:10 ~10:30	確率重み付ARXモデルによる運転行動中の注意力散漫状態の評価	# 名古屋大学大学院 情報科学研究科 奥田 裕之
		10:30 ~10:50	電気自動車とスマートグリッドへの活用	# 三菱自動車工業㈱ 開発本部先行技術企画室 百瀬 信夫
		11:00 ~11:20	MEMSガスセンサの開発	# 日本特殊陶業㈱ センサー事業部技術部 藤田 浩一
		11:20 ~11:40	サイクルシミュレーションによるディーゼル燃焼の過渡性能予測	# ㈱豊田中央研究所 エンジンシステム研究室 稲垣 和久
第2会場 (生産技術・ボデーなど)	2号館 3階 2022,2033会議室	9:50 ~10:10	渦電流式非接触変位計によるアルミ湯面検知技術の開発	* アイシン精機㈱ 信頼性技術部 岡出 元宏
		10:10 ~10:30	真空浸炭と高周波焼入れを組合せた革新熱処理-マイルド浸炭プロセス-	* アイシン・エイ・ダブリュ㈱ 生産技術本部 大林 巧治
		10:30 ~10:50	FRバンパーカバーの薄肉化	* トヨタ車体㈱ プレス化成生技部 近藤 傑嗣
		11:00 ~11:20	シルバーメタリック色無塗装樹脂部品の開発	* スズキ㈱ 開発部 長島 洋明
		11:20 ~11:40	新型プリウスPCU用直冷式冷却器の開発	* ㈱豊田自動織機 エレクトロニクス事業部技術部 小原 英靖
第3会場 (要素技術・他)	2号館 2階 2024会議室	9:50 ~10:10	車載電子機器のノイズ低減技術	※ ㈱デンソー 研究開発3部 鶴生 高德
		10:10 ~10:30	すべり軸受の混合潤滑条件下における磨耗進行の研究	※ 大同メタル工業㈱ 研究開発所 佐野 貴広
		10:30 ~10:50	脳波計測に基づく快適性評価	※ ㈱東海理化 開発部 神谷 直城
		11:00 ~11:20	リチウム空気電池の反応メカニズム解析	※ トヨタ自動車㈱ 電池研究部 錦織 英孝
		11:20 ~11:40	CFD活用によるマニュアルトランスミッション内オイル流れ予測技術	※ 愛知機械工業㈱ 要素製品開発部 小川 純一

7. 先輩講話(14:10~14:50)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講 師:さんぼう会 太田博 氏(愛知工科大学名誉教授)
- 演 題:人生を振り返って思うこと、特に自動車に関連したこと
- 講演要旨:草野球とプロ野球(1946~1950)、インフレと新円(1946)、湯川秀樹博士のノーベル物理学賞受賞(1949)、米国ウイスコンシン大学の O.A.Uyehara&T.F.Myer 教授の研究室への留学の話(1958)、山本敏男教授のもとで助手に採用(1959)、文部省在外研究員で英国ニューカズル大学の L.Maunders 教授の研究室へ留学(1984)など。



8. 特別講演会(15:00~16:10)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講 師:はこだて未来大学 教授 中垣俊之氏
- 演 題:粘菌 -その驚くべき知性を探る-
- 講演要旨:単細胞生物である粘菌(モジホコリ)が、「迷路などの幾何学的なパズルを解く」ことについて話します。細胞は最もシンプルな生き物系ですから、基本的である分、生き物としての根源的な性質を調べるには利点もありましょう。迷路を解く能力をもたらすからくりとは、どのようなものなのでしょう?単純化した現象論的数理モデル(微分方程式モデル)を提案することによって、私たちの見解を述べたいと思います。



9. アトラクション(16:30~17:30)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 「自由で独創的なヴァイオリニスト 高橋誠(Sei Takahashi)」
- 出演は、高橋誠アコースティックバンド【高橋誠(ヴァイオリン)、平康悦子(ソプラノ)、望月雄史(ガットギター)、木戸恵理(ピアノ)】
- 愛知県立芸術大学卒業、日本全国で活躍中の「GypsyJazzViolinist高橋誠」が平康悦子(ソプラノ)をゲストに向かえ、スタンダードなクラシック、オペラ、フラメンコ、ジプシー音楽まで幅広いヨーロッパ音楽を演奏します。



10. 会員パーティー(17:50~19:20)1号館7階展望レストラン

会員相互の親睦を深めて頂く良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

2011-第1回見学会

開催日時	2011年4月15日(金) 13:45~16:05	
会場	スズキ(株) 相良工場	
スケジュール	12:55 JR掛川駅南口集合・出発 13:45 会社概要説明 14:15 工場見学 15:00 質疑応答 15:25 技術講演「シルバーメタリック色樹脂部品の無塗装化による車室内VOCの削減」(仮) 16:50 掛川駅解散	
概要	スイフト, SX4, キザシの組み立てライン	
集合場所	JR掛川駅南口集合・出発	
集合時間	12:55	
定員	50名	
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。	
申込締切日	2011年3月25日(金)	
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)	
参加者条件など	・同一企業での参加希望が多数の場合は参加人数を調整させて頂く場合があります・工場内撮影禁止・ハイヒール、サンダル、草履禁止・駐車場なし	

東日本大地震により中止

2011-第2回見学会

開催日時	2011年5月27日(金)13:30~17:00	
会場	大同メタル工業(株) 犬山事業所	
スケジュール	12:55 名鉄犬山駅東口ロータリー 集合・受付 13:30 挨拶・概要説明 14:00 工場見学 15:30 技術講演「次世代エンジン軸受技術」 16:30 質疑応答 16:45 移動 17:00 名鉄犬山駅解散	
集合場所	名鉄犬山駅東口ロータリー	
集合時間	12:55	
定員	40名	
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。	
申込締切日	2011年5月6日(金)	
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)	
参加者条件など	★同業他社の方はご遠慮ください	

2011-第3回見学会

開催日時	2011年6月15日(水)13:00~16:20	
会場	ヤマハ発動機(株) 本社工場	
スケジュール	12:35 JR磐田駅北口集合・受付 13:00 工場概要説明 13:40 生産ライン見学・製品展示場見学 15:05 技術講演「ヤマハの感動創造技術とは」 15:40 質疑応答 16:00 移動 16:20 JR磐田駅解散	
集合場所	JR磐田駅北口(大楠木の下)	
集合時間	12:35	
定員	45名	
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。	
申込締切日	2011年5月25日(水)	

参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	・同一企業で参加希望が多数の場合は参加人数を調整させて頂く場合があります ・工場内撮影・録音禁止 ・ハイヒール、サンダル、草履禁止

2011-第4回見学会

開催日時	2011年7月20日(水)13:10~16:30
会場	ヤマザキマザック(株) 美濃加茂製作所
スケジュール	12:25 名鉄犬山駅東口ロータリー 集合・受付 13:10 挨拶・概要説明 技術講演「ヤマザキマザックのものづくり戦略(仮)」 14:25 ショールームおよび工場見学 16:00 質疑応答 17:00 名鉄犬山駅解散
集合場所	名鉄犬山駅東口ロータリー
集合時間	12:25
定員	80名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年6月29日(水)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	★同業他社の方はご遠慮ください

2011-第5回見学会

開催日時	2011年9月21日(水)13:40~16:30
会場	三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所 飛島工場
スケジュール	12:35 名鉄 神宮前駅西口ロータリー 集合・受付 13:40 挨拶・概要説明 14:20 技術講演「宇宙事業概要と信頼性向上に向けた取り組み」 15:20 ロケット組立工場、民間機組立工場見学 16:20 質疑応答 17:30 名鉄神宮前駅解散
集合場所	名鉄神宮前駅西口ロータリー
集合時間	12:35
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年8月31日(水)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当

台風により中止

	日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	外国人の方は、事前の見学許可が必要になります。

2011-第6回見学会

開催日時	2011年10月21日(金)13:30~16:00
会場	本田技研工業(株) 浜松製作所
スケジュール	12:55 JR浜松駅バンビ乗り場 集合・受付 13:30 挨拶・概要説明 14:00 工場見学 15:10 技術講演「真空浸炭炉の導入」 15:40 質疑応答 16:30 JR浜松駅解散
概要	トランスミッション工場見学
集合場所	JR浜松駅北口 バンビ乗り場
集合時間	12:55
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年9月28日(水)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	駐車場はありません。

2011-第7回見学会

開催日時	2011年11月11日(金)13:30~16:00
会場	ヤマハ(株)掛川工場
スケジュール	12:55 JR掛川駅南口 集合・受付) 企業紹介・ショールーム見学) グランドピアノ工場見学) 技術講演「ヤマハのものづくりとは ~伝統の匠の技とデジタル技術の融合(仮)」) 質疑応答) JR掛川駅解散
概要	・現代のテクノロジーと伝統技術が調和したグランドピアノの組立工程 の仕組みなどを紹介するショールーム
集合場所	JR掛川駅南口
集合時間	12:55
定員	50名

申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年10月21日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	駐車場はありません。同業他社および関連企業の方はお断りさせて頂く場合があります。

2011-第8回見学会(北陸地区対象)

開催日時	2011年11月21日(月)10:00~16:40
会場	見学先(日本特殊陶業(株)本社工場)、名古屋銀行協会
スケジュール	10:00~11:40 見学会(日本特殊陶業(株)本社工場) 12:20~13:00 昼食(名古屋銀行協会内レストラン) 13:00~16:40 自動車技術講習会(名古屋銀行協会) 16:50~ 帰路
集合場所	5:00 金沢駅、5:30 トランテックス、6:10 ジェイバス、7:00 北鯖江PA
定員	30名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年9月28日(水)
参加費	正会員(一般) 3,000円、会員外(一般) 7,000円、学生会員 1,000円、会員外(学生) 1,000円

2011-第9回見学会

開催日時	2011年12月9日(金)13:00~16:30
会場	旭硝子(株) 愛知工場
スケジュール	12:45 名鉄知多武豊駅西口ロータリー 集合・受付 13:00 会社概要説明 13:15 工場ビデオ鑑賞 13:35 工場見学 15:45 技術講演「薄板ガラスの動向」 16:30 質疑応答 17:00 名鉄知多武豊駅解散
概要	世界最大規模の自動車用 ガラス工場の生産工程見学
集合場所	名鉄知多武豊駅西口ロータリー
集合時間	12:45
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年9月25日(日)

参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	同業他社の方はご遠慮下さい。駐車場はありません。

2011-第10回見学会

開催日時	2012年1月27日(金)13:00~16:00
会場	日本軽金属(株) 蒲原製造所
スケジュール	<p>12:40 JR新富士駅北口ロータリー 集合・受付</p> <p>13:00 挨拶、製造所概要ビデオ紹介</p> <p>13:35 工場見学</p> <p>14:40 製品ショールーム見学</p> <p>15:15 技術講演</p> <p>1. 材料技術</p> <p>1)超音波鋳造による鋳物組織微細化 :素材グループ 織田様</p> <p>2)フレックスキャストによる薄板連続鋳造圧延材:プロセス材料グループ 穴見様</p> <p>3)鍛造用高強度材:素材グループ 角 様</p> <p>2. 接合技術</p> <p>1)アルミ-樹脂 一体成形技術:表面創製グループ 遠藤様</p> <p>2)摩擦圧接接合技術:素材グループ 角 様</p> <p>15:50 質疑応答</p> <p>16:15 JR新富士駅解散</p>
概要	<p>①アルミ電解鋳造工程</p> <p>②アルミ熱交換器製品工程</p> <p>③アルミ押出素材製造、プレス、曲げ、溶接工程</p>
集合時間	12:40
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2012年1月6日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	同業他社(アルミ及びアルミ部品製造業者)の方は、ご遠慮願います、駐車場はありません

2011-第11回見学会

開催日時	2012年2月17日(金)13:30~16:30
会場	トヨタ自動車(株) 堤工場
スケジュール	<p>12:55 名鉄三河線土橋駅 南口ロータリー集合・受付</p> <p>13:30 挨拶・概要説明</p> <p>14:00 工場見学(見学60分、質疑15分)</p> <p>15:15 技術講演「プリウスαの開発物語」 (講演30分、質疑15分)</p> <p>16:00 終了挨拶</p> <p>16:30 名鉄土橋駅解散</p>
集合場所	名鉄三河線土橋駅 南口ロータリー

集合時間	12:55
定員	80名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2012年1月27日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	駐車場はありません。

2011-第12回見学会

開催日時	2012年3月16日(金)13:30~16:30
会場	本多電子(株) 本社
スケジュール	12:35 豊橋駅東口集合・受付 13:30 挨拶・会社概要・技術講演 「共生が育てる新技術・新市場 ~超音波テクノロジーをキーとしたオープンネットワーク~」 14:30 質疑応答 14:45 超音波科学館見学 15:45 圧電素子工程見学 16:00 超音波技術者との技術交流 16:50 豊橋駅解散
集合場所	豊橋駅東口集合(添付地図参照)
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2012年2月24日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	同業他社の方はご遠慮下さい。駐車場はありません。

2011-第1回自動車技術講習会

開催日時	2011年9月14日(水)13:00~16:50
会場	名古屋市中企業振興会館(吹上ホール) 7Fメインホール
テーマ	わくわく・どきどきのクルマづくりへのヒント -その1-
スケジュール	13:10~14:00 「東京スカイツリー計画」 山本 秀樹 氏 〔(株)日建設計 プロジェクト開発部門 企画開発部 部長〕 14:00~14:50 「世界の人々の心に届くデザイン」 安積 伸 氏 〔a studio(英:ロンドン)〕 15:00~15:50 「コシノジュンコ流デザインの発想」 コシノ ジュンコ 氏 〔JUNKO KOSHINO(株)〕 15:50~16:40 夢あるものづくり -こんなクルマあったらいいね!出来たらいいね!- 木村 徹 氏 〔国立大学法人 名古屋工業大学 大学院 社会工学専攻 教授〕
概要	①「東京スカイツリー計画」 2012年5月22日に開業する高さ634m、世界一の自立式鉄塔「東京スカイツリー」プロジェクトは、単なる地上デジタル波TV放送のための電波塔建設事業ではなく、東京東部の下町エリア活性化の起爆剤となることを期待され、地域住民・行政・事業者が三者一体となって誘致を果たした地元期待のプロジェクトでもあります。その概要と盛り込まれた技術、多数の関係者が存在する中での事業化に向けたプロセス等について紹介します。
	②「世界の人々の心に届くデザイン」 ロンドンを拠点に活動し、世界各国の企業と協業するプロダクト・家具デザイナー、安積伸。世界中でベストセラーとなりV&A博物館(英)にも収蔵された代表作「LEM Stool」など、作品や思考、製作の実例を紹介しながら、実践を通して感じた「世界の人々の心に届くデザイン」と、その視点、手法についてお話いたします。

	<p>③「コシノジュンコ流デザインの発想」 2010年10月、ローマにて開催した「ローマ国際映画祭 JUNKO KOSHINO ファッションパフォーマンス」の映像と10月から始まるNHKドラマ「カーネーション」や、独自のデザインの発想、そして最近の思いをお話します。</p> <p>④「夢あるものづくり—こんなクルマあったらいいね！ 出来たらいいね！」 2008年秋アメリカから熱波のように押し寄せ、日本中を焼き尽くしたサブプライムローン破たんから始まる経済危機。それが一段落したと思いきや東日本大震災が発生しエネルギーをはじめ私達の生活そのものの根底を揺るがす事態になっている。1886年にドイツでガソリン自動車が生誕して125年、ドアツードアアの恩恵を私達は受けてきた。デザインの視点から新しいものづくりの安全、安心、サステナブルな環境を継続するための、受け継ぐべき事、改革すべき事を提言出来ればと考える。</p>
定員	180名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年8月24日(水)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、 会員外(学生)無料

2011—第2回自動車技術講習会

開催日時	2012年1月18日(水)13:00~16:50
会場	刈谷市産業振興センター(刈谷市相生町1-1-6)
テーマ	わくわく・どきどきのクルマづくりへのヒント —その2—
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:10 「Androidで世界が変わる！ —スマートフォンだけじゃない、Androidで加速するスマート革命—」 菊池 隆裕 氏 〔日経BP 日経コミュニケーション副編集長 Tpro 編集プロデューサー〕</p> <p>14:10~15:10 「パイロットから見たボーイング787」 塚本 真己 氏 〔全日本空輸株式会社 B787 機長〕</p> <p>15:20~16:20 「動物園で学ぶ地球環境—動物との共生に向けた取り組み—」 坂東 元 氏 〔旭川市旭山動物園 園長 獣医師〕</p>
概要	<p>①Androidで世界が変わる！ —スマートフォンだけじゃない、Androidで加速するスマート革命— Androidの登場から4年。それ以来、モバイルの進化は一気に加速した。その適用範囲はスマートフォンにとどまらない。いわゆる「組み込み機器」と呼ばれる電子機器に幅広く搭載され、身の回りの多くの端末がネットにつながるようになる。ネットの活用先は、オフィスや書斎にとどまらず、リビングルーム、さらには自動車などの移動空間にも広がる。ネットサービスとの接点は一段と増すことだろう。</p> <p>②パイロットから見たボーイング787 炭素繊維の複合材を主材料に用いた、最新鋭中型旅客機ボーイング787が、約10年にわたる開発と試験を経て2011年11月1日、世界に先駆けANAの定期便として羽田—岡山—広島線に就航。 787は快適性、経済性を追求した飛行機であると共に安全性を追求した飛行機でもある。この787をパイロットが操縦の観点から見た場合、今までの機種には無い色々な機器が装備されていて、これらのより進化したマン・マシーン インターフェイスによりパイロットのワークロードやヒューマンエラーを少なくし安全性を高めている。2005年からボーイング社と787の開発に携わりどのようにこの飛行機を開発してきたか、またその訓練をどのように作成してきたかに今回は焦点を置いて紹介します。</p> <p>③動物園で学ぶ地球環境—動物との共生に向けた取り組み— 旭山動物園には“珍しい動物”はいません。どんな動物も等しく自然の中で生き、優れた能力を持つ素晴らしい生き物たちです。絶滅危惧種、希少種だから価値があるわけではありません。むしろ普通の動物たちのありのままの素晴らしさを伝えることが、未来を考えるときに大切なことだと思っています。 人間には、大切なものを守る習性があります。動物たちの“ありのままの姿”に素晴らしさを感じ、そこに価値を見つけ、自然の大切さに深く気づくことができれば、今とは違う未来がきっと見えてくるはずです。ヒトだけではなく、地球上すべての生き物が共生できる未来のために動物園を通じてできることは何かをお話したいと思います。</p>
定員	180名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込締切日	2011年12月21日(水)		
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、	会員外(学生)無料	

2011-第1回技術講習会

開催日時	2011年11月21日(月)13:00~16:40		
会場	名古屋銀行協会(名古屋市中区丸の内2-4-2) http://www.nagoya-ba.or.jp/toppage.htm		
テーマ	『次世代自動車の将来展望』		
スケジュール	13:10~14:00	「自動車エネルギーの将来展望」 星博彦氏 〔トヨタ自動車(株) エネルギー調査企画室〕	
	14:00~14:50	「日産リーフにみるEVの市場受容性と社会システムとしての展望」 上田昌則氏 〔日産自動車(株) 企画・先行技術開発本部 エキスパートリーダー〕	
	15:00~15:50	「モータ、キャパシタ、ワイヤレスで築く未来の車社会」 堀洋一氏 〔東京大学 工学部電気工学科 教授〕	
	15:50~16:40	「アジア都市におけるモータリゼーションと都市交通の低炭素化に向けた動き」 土井菜保子氏 〔日本エネルギー経済研究所 計量分析ユニット 需給分析・予測グループ 主任研究員〕	
概要	<p>①「自動車エネルギーの将来展望」 2008年の石油価格高騰に端を発し、従来100%に近い石油依存度であった自動車用エネルギー源を多様化すべきとの意識が高まった。また、気候変動の観点から化石燃料を原因とする温室効果ガス低減について世界的な合意が得られつつある。また燃料供給業界の変化も大きく、自動車用エネルギーに関する大きな転換が起きようとしている。これらを概説し、将来の見通しについて述べる。</p> <p>②「日産リーフにみるEVの市場受容性と社会システムとしての展望」 電気自動車は将来の低炭素社会実現のキーとなるモビリティである。実用化に向けた開発には、自動車に搭載する電池や電動駆動機構などの要素に加え、充電や通信ネットワークといった社会インフラにまたがる広範な技術を伴う。これら電気自動車を支える技術や普及を目指した取り組みを紹介するとともに、昨年末に発売開始したリーフの市場受容性、更に電気自動車の蓄電池機能がもたらす移動手段を超えた新たな社会的役割・意義について展望する。</p> <p>③「モータ、キャパシタ、ワイヤレスで築く未来の車社会」 将来の電気自動車に500kmを走るエネルギーストレージは本当に必要だろうか。電気自動車が電力インフラから直接エネルギーをもらって走れば「ちょこちょこ充電」あるいは「走行中だったら給電」しながら走る電車のようなクルマが普通になって「電池からキャパシタへの移行」と「ワイヤレス給電」がキー技術となる。さらに、モータの優れた制御性を生かした「モーション制御」によって省エネルギーと安全性は大きく向上する。リチウムイオン電池一辺倒の現状は疑問である。クルマへのエネルギー供給手段とその使い方は全く関係ないはずだから。</p> <p>④「アジア都市におけるモータリゼーションと都市交通の低炭素化に向けた動き」 急速な発展を遂げるアジアの主要都市では、モータリゼーションが進展し石油製品需要を牽引すると共に、交通渋滞や地域環境問題が深刻化させている。本講演では、アジアの主要都市において拡大する自動車保有の要因を分析した上で、旅客運輸部門に焦点を当て、アジアの都市交通におけるエネルギー効率の改善と低炭素化に向けた動きを把握し、将来に向けた課題を抽出する。</p>		
定員	140名		
申込方法	方法 下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。		
申込締切日	2011年10月31日(月)		
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、	会員外(学生)無料	

2011-第2回技術講習会

開催日時	2012年3月7日(水)13:00~16:40		
会場	刈谷市産業振興センター(刈谷市相生町1-1-6) http://www.city.kariya.lg.jp/hp/menu000002400/hpg000002354.htm		
テーマ	情報通信技術がもたらす未来のクルマ社会		

スケジュール	13:00～13:10 開会あいさつ
	13:10～14:00 講演Ⅰ 国土交通省道路局における最新のITS分野の取組み 奥村 康博 氏 [国土交通省道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長]
	14:00～14:50 講演Ⅱ インターネットとクルマのワクワク融合 時津 直樹 氏 [インターネット ITS 協議会 事務局長]
	15:00～15:50 講演Ⅲ 「自動運転・隊列走行」技術開発の現状と将来 青木 啓二 氏 [日本自動車研究所 ITS 研究部 研究主幹]
	15:50～16:40 講演Ⅳ Honda インターナビによる安心・安全・環境への取組み 田村 和也 氏 [本田技研工業(株) インターナビ事業部 企画開発ブロック ブロックリーダー]
概要	講演Ⅰ:国土交通省道路局における最新のITS分野の取組み 国土交通省道路局で推進している ITS スポットサービスの展開について現状を説明するとともに、プローブ情報の道路行政への活用や都市間高速における渋滞の6割を占める勾配変化部(サグ部)の対策などの最新の取組みについて紹介する。また、ITS 分野における政府戦略や推進体制、日米欧による国際協調活動などについても紹介する。
	講演Ⅱ:インターネットとクルマのワクワク融合 我が国は内外から大きな変革を迫られている。また急激な ITC 技術の進展によって自動車のネットワーク化も加速しつつある。インターネットとクルマの融合を発想して 10 年が経つが、今こそ構想をリアル化する段階に入った。そこで、自動車のクラウド化を終局点とした幾つかの推進プロジェクトの概要を紹介するとともに、新しい自動車社会の創造について展望する。
	講演Ⅲ:「自動運転・隊列走行」技術開発の現状と将来 NEDO エネルギー-ITS 推進事業の一環として、省エネルギー化を目的とした大型トラックの自動運転・隊列走行の技術開発が行われている。本講演では、隊列走行に用いられている制御技術やセンサ技術について紹介するとともに、走行実験や海外での研究動向についても合わせて報告する。
	講演Ⅳ: Honda インターナビによる安心・安全・環境への取組み 現在 Honda のインターナビが提供しているサービスについて紹介する。合わせて、2011 年 3 月に発生した東日本大震災での通行実績マップ情報について、実際の展開推移や公開情報やお客様の声を交えて紹介する。さらに、現状のアクティビティをもとに、将来のテレマティクスを展望する。
集合時間	13:00
定員	140 名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2012 年 2 月 22 日(水)
参加費	正会員(一般)2,000 円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000 円、 会員外(学生)無料

2011-第1回地区講習会(三島市)

開催日時	2011 年 7 月 27 日(水)13:00～16:20
会場	東レ(株) 総合研修センター(静岡県三島市末広町21-9)
テーマ	ボデー、シャシ技術の最前線
スケジュール	13:00 開会あいさつ
	13:10～14:10 「日産リーフ 電気自動車の特徴を活かした 車両運動性能とシャシ技術」 大部 一俊 氏 [日産自動車(株) Nissan PV 第一製品開発本部 車両運動性能開発グループ]
	14:10～15:10 「環境・安全に貢献するブレーキ分野の取組みと最新技術」 鈴木 基司 氏 [株]アドヴィックス 開発企画部 技術企画室 室長]
	15:20～16:20 「ステアリングの歴史と今後の展望」 松岡 浩史 氏 [株]ジェイテクト ステアリング事業本部 システム開発部 部長]
概要	近年、自動車を取り巻く環境は大きく変化し、CO2 排出量低減やエネルギー消費削減が強く求められ、次世代自動車(HV、PHV、EV 等)も急速に普及し始めている。更に安心・安全、楽しさ・心地よさや、拡大する海外市場への対応なども重要な課題であり、これらに対する様々な取組みが行われている。今回はボデー・シャシ分野に焦点を当て、課題の克服に向けた自動車メーカ及び部品メーカの特徴ある最新技術・取組みを幅広くご紹介

	介し、今後のあり方を考える機会とする。
集合時間	13:00
定員	120名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年7月6日(水)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、 会員外(学生)無料。

2011-第2回地区講習会(浜松市)

開催日時	2011年12月16日(金)00:00~00:00
会場	アクトシティ浜松 コンgressセンター 41会議室 http://www.actcity.jp/
テーマ	高齢化社会にも対応した自動車の安心・安全技術の最前線
スケジュール	13:00~13:10 開会あいさつ 13:10~14:10 (1)安全・安心な高齢化社会を支えるモビリティ 森賢二氏 [トヨタ自動車(株) 技術統括部 先端・先行企画室 主幹] 14:10~15:10 (2)エレクトロニクスの進化と自動車の安全 手操能彦氏 [(株)デンソー 技術企画部 第2技術企画室 室長] 15:20~16:20 (3)スバルの安全への取組みとEyeSight (Ver. 2)の開発の狙い 樋渡穰氏 [富士重工業(株) 技術研究所 兼 スバル技術本部 技術開発部 主管]
概要	(1)少子高齢化が進んだ日本社会では、高齢者の活力を有効に活用することが、経済や社会の活性化には不可欠だと考えられる。シニア層の活発な活動を支えるためには、高齢者の特質を把握し、ニーズに即した形での交通手段、移動手段、モビリティ提供が重要となる。高齢者を含む安全・安心社会の為の取組みについても紹介する。 (2)近年、自動車の安全技術の進歩は目覚ましいものがある。本講演では、自動車の安全技術について、エレクトロニクス技術の観点から解説する。まず、現在の衝突安全、予防安全、先進安全技術について解説し、あわせて開発中の事例を紹介、今後の展望についても触れる。 (3)スバルは黎明期から、“技術は人のためにある”の思想に基づき自ら高い安全性能を目指してきた。脈々と受け継がれる安全思想は、現在のトップの衝突安全性能の獲得、さらには、そもそも“ぶつからない”ことを目指した、スバル独自の運転支援システム“アイサイト”の実現に繋がった。今回は特に、アイサイトの20年の開発の歴史とそれを支えたスバルの知能化技術について解説する。
定員	120名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年11月25日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、 会員外(学生)無料

2011-中堅技術者懇談会(1泊2日)

開催日時	2011年10月6日(木)~2011年10月7日(金)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県浜松市三ヶ日町都筑 607-7)
スケジュール	【1日目】 10:00~10:05 開会挨拶:担当理事 田中泰氏(トヨタ車体(株)専務取締役) 10:05~10:30 オリエンテーション(挨拶・スケジュール説明など) 10:30~12:00 講演:「中堅技術者に期待すること(仮)」 大同メタル工業(株)取締役社長 坂本 雅昭 氏 12:00~13:00 昼食 13:00~17:00 グループ討議(5グループ) 17:00~19:30 休憩(入浴)、夕食

	19:30～22:00 自由討議、名刺交換
	【2日目】 7:00～ 8:00 朝食 8:30～12:00 グループ討議まとめ 12:00～13:00 昼食 13:00～15:40 グループ発表(5グループ) 15:40～16:30 閉会、アンケート記入
	技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。
概要	<2010年参加者の声> 今回の中堅技術者懇談会には20社を超える企業から約50名の技術者が一堂に会しました。競合他社も交えながら対等に互いの業務上の悩みを相談できたことは非常に驚きで、期待を大きく上回る成果を得ました。最初の講演では現役の社長さんから体験談を交えて「中堅技術者に期待すること」が語られ、雰囲気作りとして最高でした。その後、複数のグループに分かれて悩みを挙げて討議しましたが、最後に各グループが発表会で結果を披露したところ「上司と部下とのコミュニケーション」、「少ない人材・リソースの効率的な運営」など悩みに共通点が多かったことがもう一つの驚きでした。話し合いを通じて、直ぐに適用できる解決方法を見出したりして、その場では解決できなかった悩みでも、ヒントや新たなモチベーションを得ることができました。 短い期間でしたが、問題に対する姿勢がより研磨できたと実感し、中堅として自信を深めました。開催者には言葉では言い尽くせないほど感謝しております。Great job!! Thank you very much. 実は私が唯一の外国人でしたが、国、会社、男女の文化を越えた心の交流となった、とても印象に刻まれる体験でした。 Do unto others what you want them to do to you!! 三菱自動車工業(株) 電子技術部 ケビン・ウォルターズ
定員	50名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年7月15日(金)
参加費	8,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る(35歳前後の中堅技術者)

2011ー若手技術者懇談会(1泊2日)

開催日時	2011年11月3日(木)～2011年11月4日(金)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県浜松市三ヶ日町都筑 607-7)
スケジュール	【1日目】 10:00～10:05 開会挨拶:担当理事 田中泰氏(トヨタ車体(株)取締役副社長) 10:05～10:30 オリエンテーション(挨拶・スケジュール説明など) 10:30～12:00 講演:「いつも変わらない夢があった」 ヤマハ発動機(株) MC事業本部技術統括部 先行開発部 部長 鈴木 正人 氏 12:00～13:00 昼食 13:00～17:00 グループ討議(5グループ) 17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食 19:30～22:00 自由討議、名刺交換 【2日目】 7:00～ 8:00 朝食 8:30～12:00 グループ討議まとめ 12:00～13:00 昼食 13:00～15:30 グループ発表(5グループ) 15:40～16:00 閉会、アンケート記入 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。
概要	<2010年度参加者の声> 集まった参加者たちとは、企業間の付き合いではなく同じ技術者の仲間という意識で接することができました。そのため、普段知り得ない他社の雰囲気や仕事の進め方など、大変興味深い話を聞ける良い機会となりました。また、他社を知ることで、自社の良いところ悪いところを客観的に見れたことも私にとって大きな収穫でした。討議では「若手技術者の悩みと解決法」というテーマが与えられ、業務の難易度や業務量、はたまた人間関係などについて悩みを打ち明け、その打開策をみんなで議論するとても有意義な時間を過ごしました。また、この議論の中では、今回のテーマに限ったことではなく、問題解決のプロセスやアウトプットの

	<p>出し方・見せ方など、それぞれの企業カラーや普段の仕事の取り組み方を伺い知ることができ、とても勉強になりました。</p> <p>懇談会に参加し同世代の技術者から刺激を受ける中で、エンジンが作りたくてヤマハ発動機に入社し今その仕事に携わっている喜びを実感しました。これからもこの気持ちを大切に業務に取り組みたいと思います。今後、この若手技術者懇談会で知り合った私たちが、中堅、ベテランとなっていく過程で、一緒に仕事ができれば大変うれしいと思います。</p> <p>ヤマハ発動機(株) エンジン設計部 北村 直樹</p>
定員	50名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年9月7日(水)
参加費	8,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る(25～29歳前後の若手技術者)

2011ー第1回技術交流会

開催日時	2011年7月12日(火)13:00～18:20
会場	刈谷市産業振興センター
テーマ	CO2削減ーエンジンからの挑戦ー
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:05～13:45 ①「Efficient Dynamics」のスローガンの下、ガソリンエンジン車の未来は開けている 山根 健氏 [ビー・エム・ダブリュー(株) 技術顧問]</p> <p>13:45～14:25 ②「BlueDIRECTー高効率ガソリンエンジン」と「ダウンサイズ・ディーゼルエンジン」 団野 喜朗氏 [メルセデス・ベンツ日本(株) メルセデス・ベンツ R&D 川崎専任マネージャー]</p> <p>14:35～15:15 ③日産自動車の環境への取組みとガソリンダウンサイジングエンジン 上田 隆正氏 [日産自動車(株) パワートレイン開発本部 エキスパートリーダー]</p> <p>15:15～15:55 ④次世代エンジンコンセプト「SKYACTIV」 工藤 秀俊氏 [マツダ(株) パワートレイン開発本部 エンジン性能開発部長]</p> <p>15:55～16:55 全体討議</p> <p>《第2部》</p> <p>17:00～18:20 意見交換会</p>
概要	<p>自動車では幾つかの側面からCO2削減が取組まれている。動力源については、FC、EVなど根本的な置換えもあるが、新興国市場などを考えれば将来的にも内燃機関が基本的動力源として継続することは間違いなく、エンジンレベルでのCO2削減は自動車の重要課題である。</p> <p>今回は、エンジンを中心とした自動車のCO2削減に対して特徴的な活動をしているメーカーの専門家を招聘し、各社の考え方・特徴的な技術・最新エンジンシステムと投入技術などを紹介いただき、総合討議では参加者も含めて今後のエンジンの方向性について議論を行いたい。</p>
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年6月24日(金)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円

参加者条件など 自動車技術会会員に限る(正会員、学生会員)

2011-第2回技術交流会

開催日時	2011年10月28日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市産業振興センター(刈谷市相生町1-1-6)
テーマ	自動車用構造材料の新展開
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》 13:05~13:45 ①自動車における軽量化材料の展望と課題 ・軽量化の鍵となる新しい材料(高張力鋼、アルミ、樹脂)の現状と課題 大河内 智 氏 [トヨタ自動車(株) 金属・無機材料技術部 金属材料室 GM]</p> <p>13:45~14:25 ②高張力鋼の状況 ・ハイテン(自動車用高張力鋼板材)の現状と課題、他 藤田 展弘 氏 [新日本製鐵(株) 薄板材料研究部 主幹研究員]</p> <p>14:35~15:15 ③アルミ系材料の状況 ・自動車用アルミ板材の現状と課題、グローバルな状況、他 穴見 敏也 氏 [日本軽金属(株) グループ技術センター プロセス材料グループ グループマネージャー]</p> <p>15:15~15:55 ④高強度鋼用金型表面処理技術の最新動向 ・DLCなど高強度鋼加工に要求される金型表面処理技術の現状と課題 土屋 能成 氏 [株豊田中央研究所 金属材料研究部 表面改質研究室 主任研究員]</p> <p>15:55~16:55 全体討議</p> <p>《第2部》 17:00~18:20 意見交換会</p>
概要	<p>自動車のCO2削減に対して軽量化は大きな効果を持っている。エンジンレベルではダウンサイジングなどが取り組まれているが、根本的に車体の構造材料を軽量化することは最も効果的かつ汎用的な手段と考えられる。</p> <p>今回は構造材料について、車づくり、材料、加工の各分野から専門家を招聘し、軽量化の方向性・最新の材料技術・加工上の課題などを紹介いただき、総合討論では参加者も含めて今後の自動車用材料の在り方について議論を行いたい</p>
定員	40名程度
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年10月7日(金)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る(正会員、学生会員)

2011-第3回技術交流会

開催日時	2012年2月24日(金)13:00~18:20
会場	アイシン年金基金会館 安城市三河安城東町2-8-1
テーマ	新興国とクルマづくり
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》 13:05~13:45 ①南アジア諸国の社会と経済 岡田 亜弥 氏 [名古屋大学大学院 国際開発研究科]</p> <p>13:45~14:25 ② インド向け乗用車”Etios”の開発</p>

	<p>則武 義典 氏 〔トヨタ自動車 製品企画本部 ZK1 チーフエンジニア〕</p> <p>14:35～15:15 ③ アセアン二輪ビジネスの明と暗 三輪 邦彦 氏 〔ヤマハ発動機 MC 事業本部 技術統括部長 上席執行役員〕</p> <p>15:15～15:55 ④インドでの新工場立上げ 羽田 芳智 氏 〔スズキ 第一生産技術部 部長〕</p> <p>15:55～16:55 全体討議</p> <p>《第2部》 17:00～18:20 意見交換会(参加者全員)</p>
概要	<p>①新興国インドの産業発展と課題 ・近年、急成長を遂げるアジア新興国の産業開発と企業の現状と課題について、特にインドに焦点を当てて、社会・経済の歴史的発展経緯を踏まえながら解説</p> <p>②インド向け乗用車"Etios"の開発 ・現地の状況やユーザの要望に適合できるハイレベルな性能と機能を有する低コスト車両の企画開発過程を紹介</p> <p>③アセアン二輪ビジネスの明と暗 ・アセアン諸国へ展開された二輪車について、その使用実態と開発、販売、アフターサービスに至る現状と課題を紹介</p> <p>④インドでの新工場立上げ ・インドでパワートレイン工場を立ち上げた経験を基に、このプロジェクトの概要とインド流の仕事の進め方・考え方を紹介</p>
定員	40名程度
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2012年2月3日(金)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る、駐車場の要領が少ないので車での参加は極力ご遠慮下さい。

2011年度学自研行事

委員長校 名城大学

副委員長校 福井大学

開催年月	行 事 名	開催場所 (担当大学)	参加校
2011年 5月7日(土)	新入生ものづくりイベント	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学大学・静岡大学)	参加校 4校 参加人員 41人
5月14日(土)	学生委員会	名城大学 (名城大学/本年度委員長校)	参加校 8校 参加人員 10人
5月28日(土)	自動車テクニカルセミナー (溶接編)	トヨタ自動車(株) 保見研修センター (金沢大学・金沢工業大学)	参加校 9校 参加人員 31人
7月2日(土)	参与会・学生委員会 特別講演会	名城大学 (名城大学/委員長校)	参加校 12校 参加人員 21人
7月5日(火)	走行技術トレーニング	小笠山総合運動公園エコパ (岐阜大学・静岡理工大学)	参加校 5校 参加人員 55人
8月3日(水)～ 4日(木)	3支部合同 学生フォーミュラ試走会	富士スピードウェイ	中部支部 参加校 7校 参加人員 約100人

8月18日(木)	走行技術トレーニング (東海地区)	ヤマハリゾートつま恋カートコース (岐阜大学・静岡理工大学)	参加校 4校 参加人員 約50人
10月29日(土)	学生委員会	名城大学 (名城大学/委員長校)	参加校 9校 参加人員 13人
11月23日(水)	走行技術トレーニング (東海地区)	小笠山総合運動公園エコパ (岐阜大学・静岡理工大学)	参加校 8校 参加人員 141人
12月11日(日)	四輪駆動車試乗会	さなげアドベンチャーフィールド (愛知工業大学)	参加校 6校 参加人員 38人
12月17日(土)	走行技術トレーニング (東海地区)	小笠山総合運動公園エコパ (岐阜大学・静岡理工大学)	参加校 7校 参加人員 88人
12月18日(日)	自動車テクニカルセミナー (タイヤ・サスペンション)	名古屋大学 (名古屋大学)	参加校 7校 参加人員 25人
2012年 1月28日(土)	参与会・学生委員会	名城大学 (名城大学/委員長校)	参加校 13校 参加人員 26人
	支部学自研大会 ・研究発表会		参加校 8校 参加人員 57人
3月1日～2日	学自研学生と社会人技術者 との懇談会 (1泊)	トヨタ車体 (名城大学・三重大学)	参加校 7校 参加人員 14人 社会人技術者 8人
3月17日(土)	自動車テクニカルセミナー (電装・EV車)	名古屋工業大学 (名古屋工業大学)	参加校 9校 参加人員 20人